

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 先端産業課
 担当名: 総務・企画担当
 内線: 3736

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B26	AI・IoT活用推進事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	次世代産業支援費		
事業期間	平成27年度～令和6年度	根拠法令	なし			針路分野施策	11 稼げる力の向上 1101 新たな産業の育成と企業誘致の推進	SDGsゴール 9 SDGsターゲット 9-5		
1 事業の概要 社会的なDXの推進に向けた県内ものづくり企業に対するAI・IoTなどデジタルテクノロジー普及啓発・人材育成支援、SAITECによるAI・IoT等システム導入に関する技術支援を行う。				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 普及啓発・人材育成事業 58,638千円 県公社内にコーディネータを設置するとともに、AI・IoTコンソーシアム・AI・IoTプラットフォームの運営、普及セミナー、人材育成研修等を実施する。 イ 導入支援事業 14,334千円 導入に係る技術相談、専門家による伴走支援を実施するとともに、SAITECで構築した「IoT活用支援メニュー」による支援や「AIを活用した生産性向上システム」等を活用し、県内ものづくり企業へのAI・IoTの導入支援を実施する。						
(1) 普及啓発・人材育成事業 △10,074千円 補助金の交付決定額が見込みを下回ることによる減額 (2) 導入支援事業 △2,744千円 事務費の節減により生じた執行残の減額				(2) 事業計画 令和2年度 AI・IoTコンソーシアム会員拡大、AI・IoTプラットフォーム機能拡充、AI・IoT普及・活用支援、AI・IoT技術支援、ロボット開発・人材育成支援 令和3年度 AI・IoTコンソーシアム会員拡大、AI・IoTプラットフォーム活用支援、AI・IoT普及・活用支援、AI・IoT技術支援、ロボット開発・人材育成支援 令和4年度 AI・IoTコンソーシアム会員拡大、AI・IoTプラットフォーム活用支援、AI・IoT普及・活用支援、AI・IoT技術支援						
2 事業主体及び負担区分 (1) (県10/10) 公社0 (2) 県10/10				(3) 事業効果 AI・IoTの導入や人材育成支援等により、県内中小企業の「稼ぐ力」の向上を図ることができる。						
3 地方財政措置の状況 なし				(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 埼玉県産業振興公社、民間企業、専門家等と連携して実施する。						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×5.5人=52,250千円				(5) 補正予算の概要 ア 普及啓発・人材育成事業 補助金の交付決定額が見込みを下回ることによる減額 イ 導入支援事業 事務費の節減により生じた執行残の減額						
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
		繰入金								
決定額	△12,818	△12,818							0	60,154
現計額	72,972	72,972							0	

事業内訳書

事業名	AI・IoT活用推進事業		
単位事業名	普及啓発・人材育成事業	予算額	△ 10,074千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	△10,074	—	補助金の交付決定額が見込みを下回ったことによる減額
合計	△10,074	—	

単位事業名	導入支援事業	予算額	△ 2,744千円
-------	--------	-----	-----------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△750	—	事務費の節減により生じた執行残の減額
旅費	△177	—	事務費の節減により生じた執行残の減額
需用費	△1,500	—	事務費の節減により生じた執行残の減額
役務費	△117	—	事務費の節減により生じた執行残の減額
使用料及び賃借料	△200	—	事務費の節減により生じた執行残の減額
合計	△2,744	—	